

コミュニティバスのラッピングについて

1 新しいコミュニティバス車両について

車両概要：小型ノンステップ車両（ポンチョロングボデー・1ドアタイプ）
乗車定員33人、座席数14席、全長6.99m、全幅2.08m

2 車両のラッピングについて

- ・車両のボディにデザインしたシールタイプを張り付ける。
- ・路線バスとの差別化を図り、町民に親しみを持ってもらう。
- ・ラッピング費用は80万円（デザイン料別）となっている。
- ・経年劣化した際に更新は可能となっている。

3 ラッピングする手法について

- ・乗り支える意識の向上につなげるため、デザイン募集などが想定される。
 - ・現在、町のPRキャラクターである菜の花畑のニーノを活用し、デザインを行うこととし、数パターンのデザインを基に、町内の小中学生を対象にアンケートを行い、車両のデザインの決定をすることとしたい。
 - ・ラッピングは①車両の前面、②車両の側面（歩道側）、③車両の側面（道路側）、④車両の後面の4か所となる。
- ※デザインが決定してからラッピングが完了するまでは2か月期間を要する。

4 乗り支える仕組みとの連動について

- ・コミュニティバスの乗車体験などのイベントを町事業で開催し、利用促進につなげる。
- ・ぬり絵コンテストを開催し、車両内に展示し運行する。